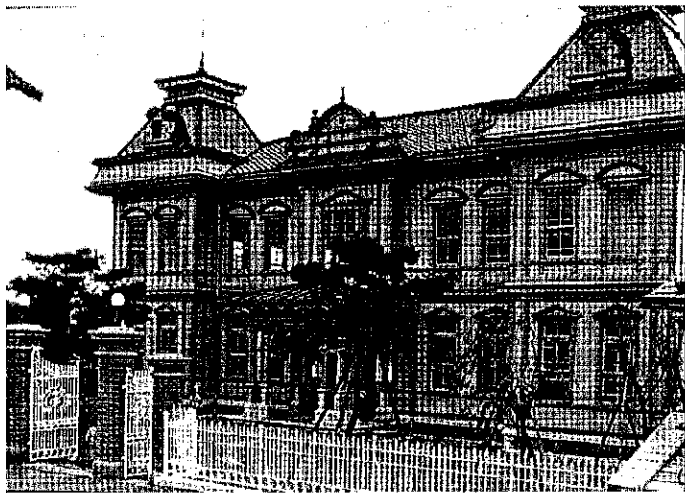


大島グループ「越後の都 高田400年の歴史と文化」まちづくり講演会

越後の都 高田

歴史と文化、未来へ結ぶ誇りと魅力



2015年3月25日

上越市立総合博物館
花岡公貴

福島城

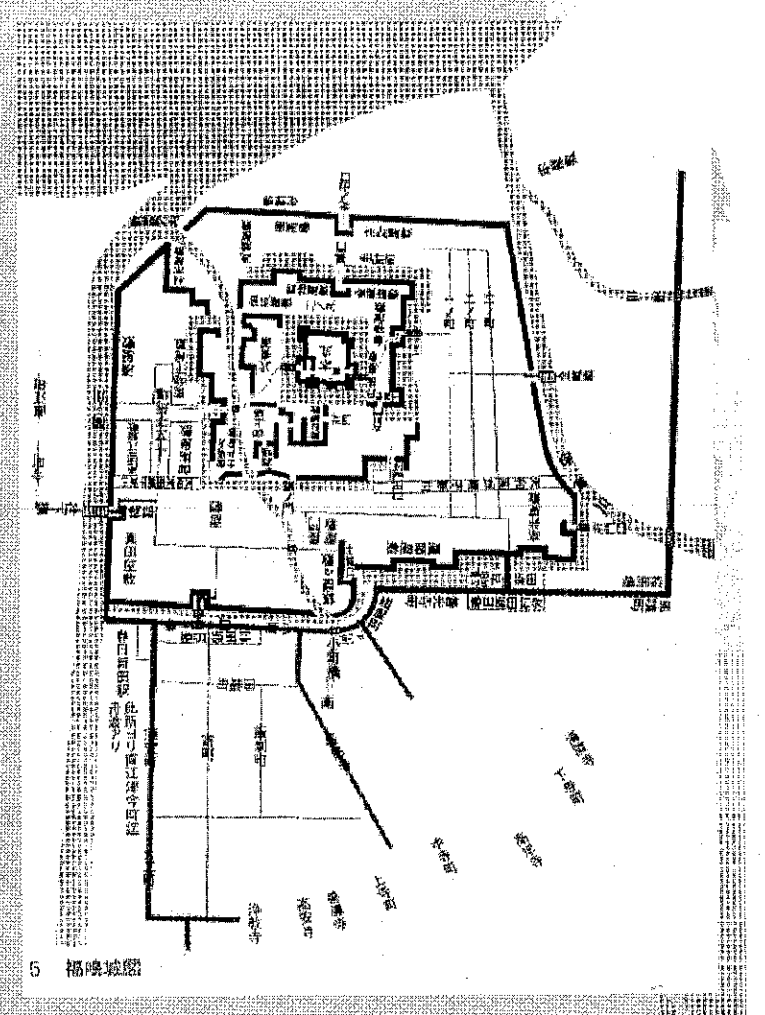
堀秀治・忠俊二代にわたり、10年ほどの年月をかけて作られた、越後国府の城。

春日山城下、旧越後国府、直江の津などの中世市街地を全てその城下に集約して誕生した。

およそ2km四方の外郭を持つ。越後一国を治めるに値する大きな城である。

城の竣工から廃城まで7年ほどの短い生涯となった。

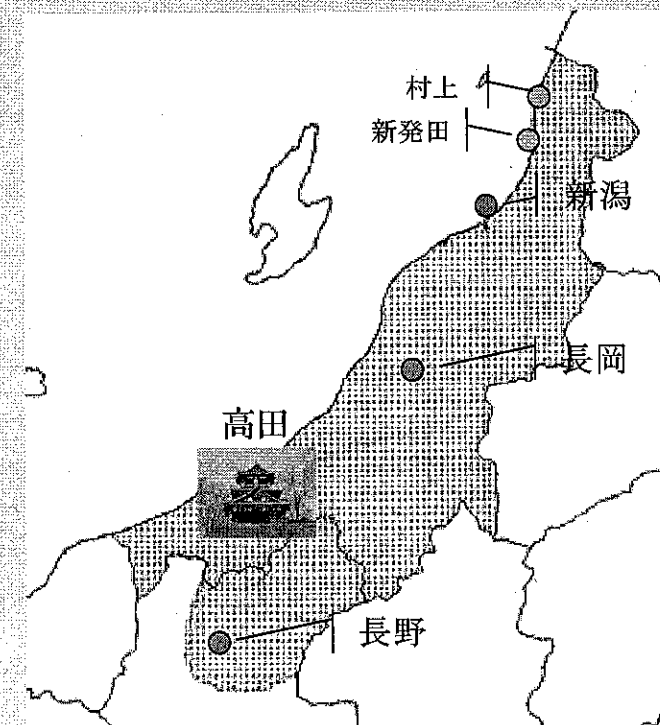
関川・保倉川に挟まれ、洪水になりやすかったこと、また砂丘の後背湿地に接近しており、城下町が狭くなったことが廃城の理由かもしれない。



春日山から福島、高田へ

- 1598年(慶長3)、秀吉の命で、上杉景勝が会津へ移り、堀秀治が春日山城に入る。
- 1600年(慶長5)、関ヶ原の戦い起こる。堀氏上杉遺民一揆と戦い、これを破る。福島築城開始。
- 1609年(慶長14)、堀家、御家騒動となる。このころには福島城完成。
- 1610年(慶長15)閏2月、堀氏改易。松平忠輝が川中島(北信4郡)と合わせて越後を領有し、福島城に入る。
- 1614年(慶長19)3月、高田築城開始。7月上旬竣工。

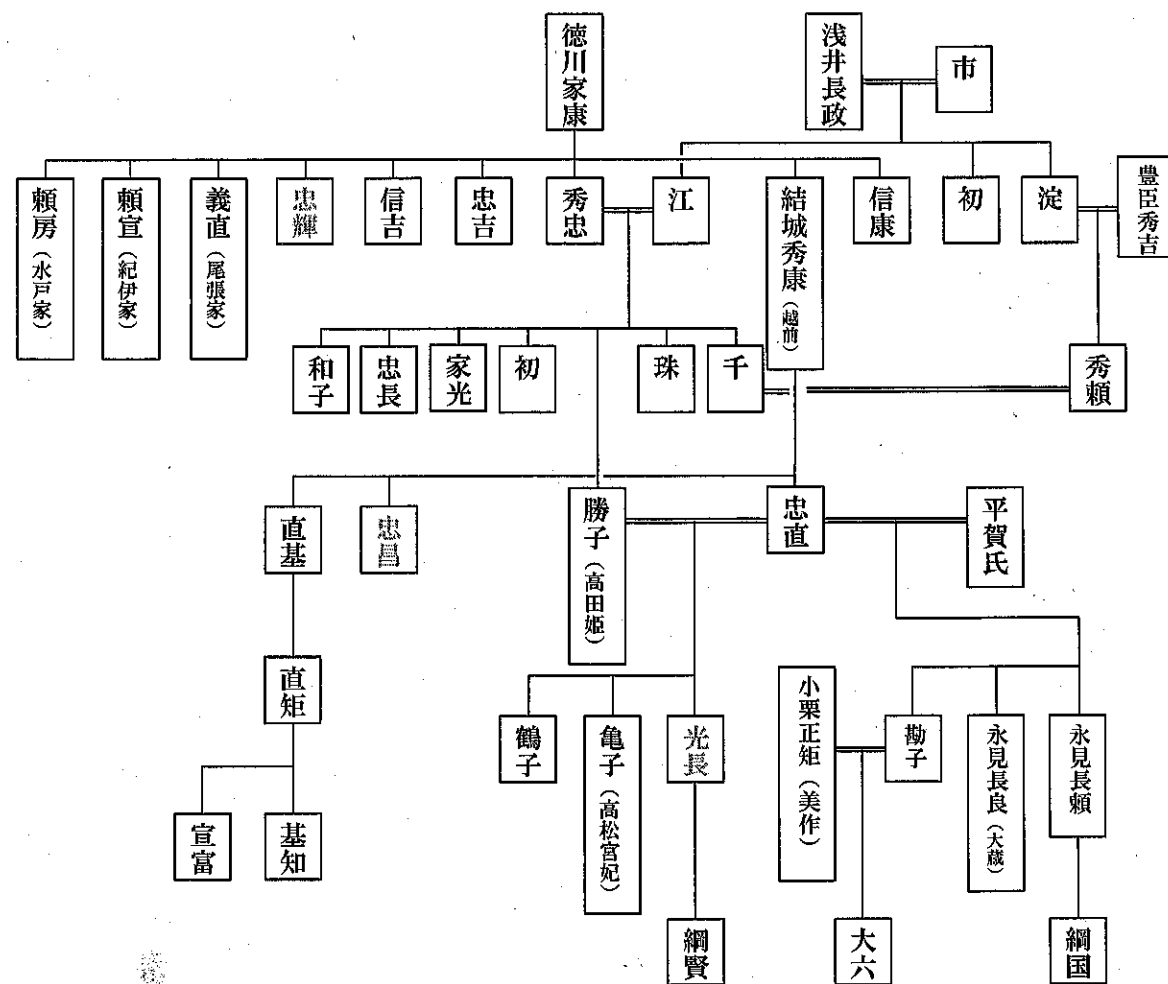
松平忠輝の領地



- 松平忠輝は越後一国と北信四郡を治めた大大名。
- 石高は45万石から75万石まで諸説あり。

- 全国でも屈指の大大名。
- 徳川家康が北国の要衝に打ち込んだ楔

- 当時の高田は、長岡・新潟・長野をもその領内においた。
- ただし、新発田・村上は与力大名。
- 巨大な藩領を治めるための壮大な城郭と広大な城下町ーそれが高田である。

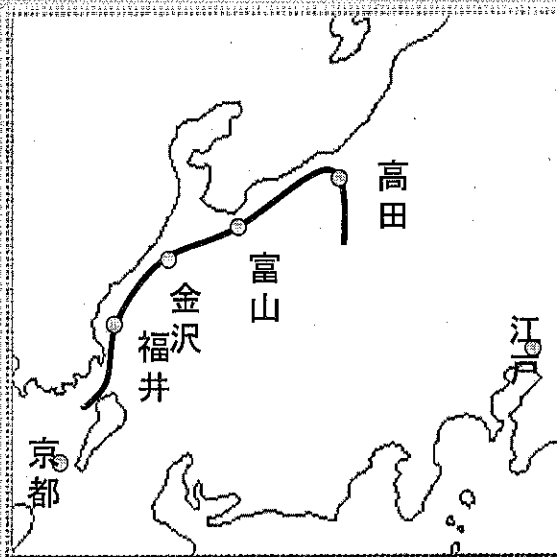


勝子(勝姫・高田姫)

- ◆ 徳川秀忠とお江の間に生まれた3女。いここにあたる越前の松平忠直に嫁ぎ、一男二女を授かる。忠直が乱行のため、豊後に配流されたときは、忠直に同行せず、江戸屋敷へ子どもとともに移り住んだ。高田馬場の地名はこの勝子の屋敷にちなむと言う説もある。
- ◆ 高田城下の地子銀を廃止した。金谷薬師(医王寺)の薬師像は勝子が寄進したとされる。
- ◆ 寛文12年(1672)年江戸で死去。

松平光長(越後守家)

- ◆ 元和元年(1616)11月29日生まれ。幼名仙千代。父は越前北庄藩主松平忠直、母は二代将軍秀忠とお江の娘である勝子。父方も母方も曾祖父が家康である。家格が高い家だった。御三家に次いで四家と称された。
- ◆ 父忠直が乱行によって、豊後に配流となったため、仙千代が一旦は北庄藩(福井藩)を継承するが、すぐに高田藩主で忠直の弟忠昌と入れ替わることになる。こうして、寛永元年(1624)4月、光長が高田藩主となった。26万3000石。光長は江戸にすることが多く、高田にはあまりいなかったらしい。



越前・越後で前田を挟み込む

天崇寺 勝子姫と亀子の墓碑

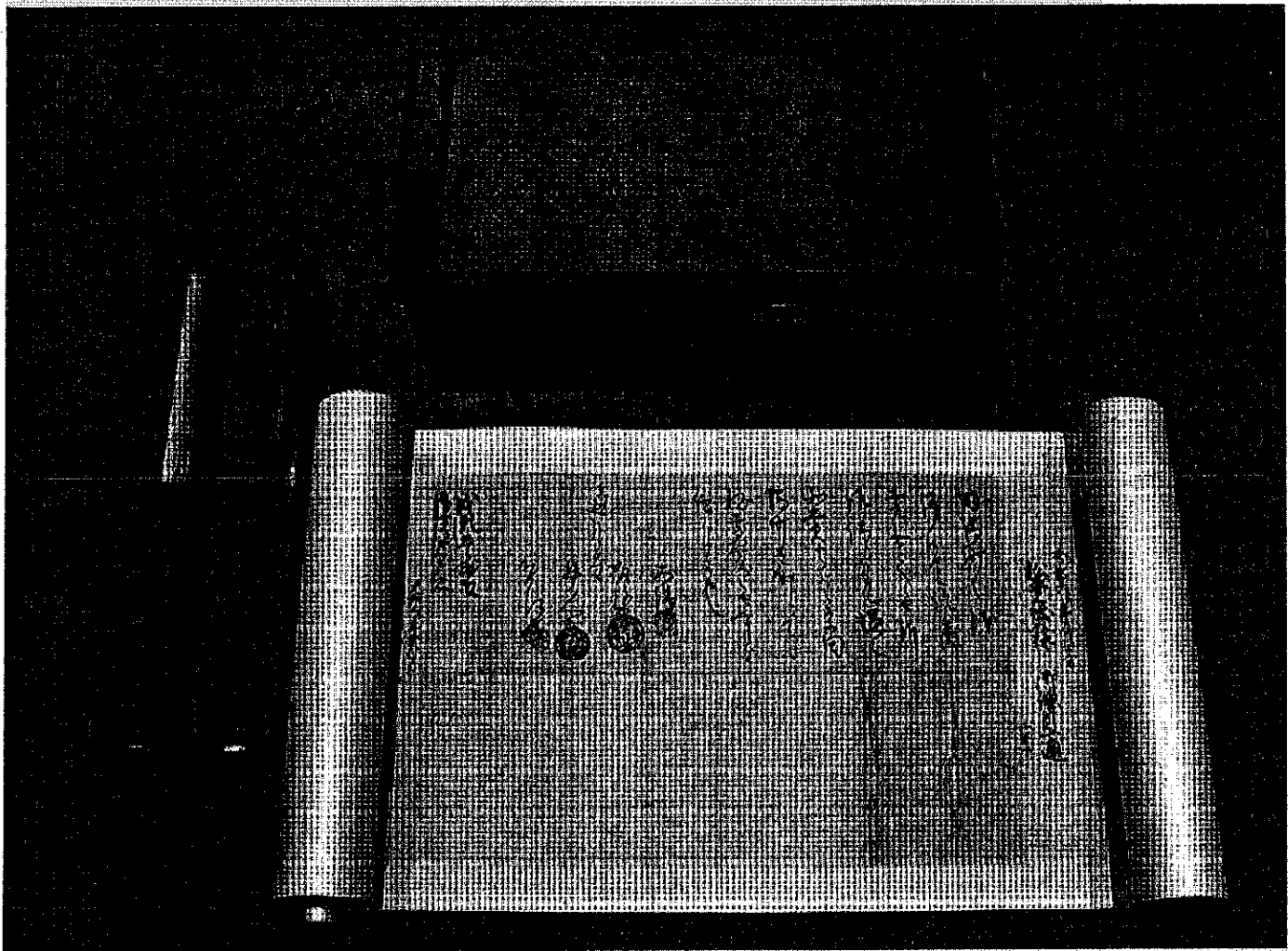


正徳2年(1712)高田町各町記録 (高田図書館所蔵「榊原文書」より)

番号	町名	由緒・特権等	町内の諸職	番号	町名	由緒・特権等	町内の諸職
1	伊勢町		桶屋1	21	稲田町	先年は百姓地	檢物屋1 紺屋1 桶屋1
2	関町	春日山・福島以来の町	塗師屋1 柄巻屋1 紺屋形付2 桶屋4	22	下稲田町	14年前より町方支配	紺屋6 檢物屋1
3	春日町	春日山・福島以来の町、 雑穀商売、馬市、往來人足	風呂屋1 臺屋1 檢物屋2 紺屋6 紺屋形付1 仕立屋1 塗師屋1 桶屋1	23	須賀町		
4	上蔵番町	松平光長時代に年貢蔵	素読指南役浪人1 手習師匠浪人1 湯屋1 紺屋4 塗師屋2 桶屋1	24	両替町		湯屋1 井戸堀2 臺屋5
5	上紺屋町	春日山・福島以来紺屋商売	紺屋1 浪人1	25	上田端町	肴商売	肴問屋6 肴小売71 肴値段番4 信州出肴改換目1 紺屋1
6	府古町		紺屋1	26	檢物屋町		檢物屋15 湯屋1
7	横町		旅籠屋21 紺屋4 臺屋1 仕立屋1	27	下田端町	肴商売	肴問屋6 肴小売74 肴値段番4 信州出肴改換目1 紺屋1
8	呉服町	茶商売	秤屋1 表具屋3 熨燭屋1 塗師屋1 古道具取売1 簞屋2 仕立屋7 臺屋2 町料理人1 八百屋6 旅籠屋8	28	杉森町		井戸堀1 飾屋1 熨燭屋1 湯屋1 桶屋3
9	上小町	諸問屋商売・船宿・信州人馬宿・塩四十物・煙草	信州問屋7 仕立屋4 菓子屋3 簞屋1 研屋1 手習師匠浪人1 浪人1	29	桶屋町	御城廻り桶細工	桶屋49 籠屋2
10	中小町	諸問屋商売・船宿・信州人馬宿・塩四十物	信州問屋10 四十物問屋3 絵師1 町料理人1 僱者1	30	本杉鍛冶町		紺屋1 風呂屋1 井戸堀1
11	下小町	諸問屋商売・船宿・信州人馬宿・塩四十物	信州問屋1 縮問屋6 謡師1 加賀幸相本陣1 菓子屋1 松平長門守本陣1 旅籠屋30 熨燭屋5 五器屋1 簞屋1 仕立屋1 桶屋1	31	本大工町	福島越以来大工職	手習師匠1 紺屋1 桶屋4
12	下紺屋町	春日山以来染屋17人	鋳子屋1 柄屋1 熨燭屋1 紺屋2 足袋屋1 町料理人1 手習師匠1 浪人2	32	元府古町	福島越以来天馬町	紺屋1 桶屋2
13	土橋町		町料理人1 小舟持1	33	大蔵町		紺屋1 井戸堀1
14	善光寺町		材木屋2 風呂屋1 簞屋1 柄巻屋1 表具屋2 紺屋1 塗師屋1 傘屋1 指物屋1 竹とうし屋1	34	寄大工町	福島越以来	紺屋3
15	長門町	木町	材木屋5 絵師表具師1 紺屋1 風呂屋1 指物屋1 簞屋1 井戸堀1	35	刃物鍛冶町		刃物鍛冶1 鍋のいかけ1 湯屋1
16	中屋敷町	福島越以来の町	風呂屋1 研屋1 塗師屋1 熨燭屋2 仕立屋2 紺屋8 傘屋1 桶屋1	36	陀羅尼町		手習師匠1 爪作り1 山木丸太商売5 塩問屋2 町料理人1 唐傘提灯張1 熨燭屋1
17	直江町	福島越以来の町 雑穀商売	船持1 手習師匠2 萱屋根葦1 指物屋1 紺屋2 桶屋1	37	新田町		浪人1 彫物屋3 金具屋3 研屋3 鞘師1 鞘師塗師屋10 塗師屋1 柄巻屋3 興物屋3 仕立屋2 提灯張合羽屋3 提灯屋3 簞屋2 紺屋2 紺屋形付1 絵師1 刃物鍛冶1 簞屋1 臺屋1 縫屋1
18	本誓寺町	福島城時代に本誓寺門前	紺屋4 熨燭屋2 風呂屋1	38	上職人町		研屋7 彫物屋2 金具屋2 鞘師塗師屋3 紺屋1 紺屋形付2 臺屋3 合羽屋1 菓佐1 指物2 絵師表具屋1 仕立屋1 傘屋1
19	稲田鍛冶町		紺屋2	39	下職人町		
20	鍋屋町	鍋商売	鍋屋11 紺屋1				

光長の改易と高田の衰退

- ◆ 小栗美作の「専横」を原因に、高田藩に御家騒動が勃発、将軍綱吉の介入を受けて、小栗親子は即日切腹、反対派の首謀者は島流し、光長は改易となる。
- ◆ その後、徳川家一族による支配は終わり、高田藩の石高は減り、越後の首府としての地位も失う。しかし依然として越後一の藩であり城下町であることに変わりはない。
- ◆ 城付きの領地の多くが離れて行ったため、高田の経済にも大きな打撃があった。

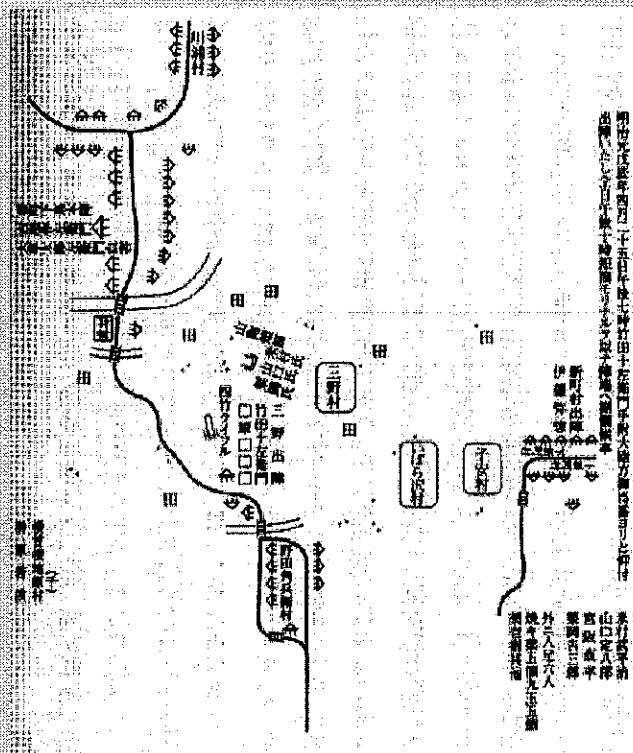


譜代高田藩と榊原家の入封

- ◆ 松平光長の改易後、高田は一時幕府直轄となり、その後、稲葉正通・戸田忠真・久松松平家(5代)の55年間、10万石前後の譜代藩が藩主を勤める時代が続く。
- ◆ 石高は小さくなったが、いずれも幕府老中を輩出するような幕府の信任が厚い大名家である。「幕府から高田を預かっている」という感覚。
- ◆ 寛保元年(1741)、徳川四天王に数えられる譜代の雄・榊原家が高田藩主になる。
- ◆ 8代政岑の不行跡を理由に、姫路から異動させられた。(高田は処罰を受けるところ?)
- ◆ 姫路と高田で、榊原家の石高は同じだが、実収入はかなり減少した。
- ◆ 苦しい財政状況のなか、榊原家は130年間、6代にわたって高田藩主を勤めた。
- ◆ 榊原家の時代、白河市付近に高田藩の大きな飛地「奥州領」があった。

幕末維新の嵐

- ◆ 徳川譜代の榊原家は、長州戦争で幕府の先鋒として戦う。大敗北し、幕府が倒壊する。
- ◆ 大政奉還が行われ、戊辰戦争が勃発。榊原家は、ぎりぎりまで態度を保留しながら、新政府軍に付く。川浦戦争。
- ◆ 高田・直江津は新政府軍の長岡攻略の基地となる。
- ◆ 大勢の高田藩士が新政府軍に従軍し、会津落城まで戦い抜いた。



はじまりはおわりから

-城下町高田の失権-

- ◆ 明治2年(1869)6月17日、版籍奉還。
- ◆ 明治4年(1871)7月14日、高田藩廃止、高田県となる。同年11月、柏崎県に編入。城下町として経済的特権や政治の中心地としての地位も失われてしまいました。
- ◆ 最後の藩主榊原政敬、東京へ。
- ◆ 明治6年、柏崎県が新潟県に編入。
- ◆ 高田は、地域の政治・経済の中心地としての地位を大きく削がれる。藩領は細かい町村単位に分断される。
- ◆ 高田の町は急激ににぎわいを失っていきました。



明治前期の高田城大手門
(『高陽余影』より)

高田藩士墓地



薩摩藩士墓地



長州藩士墓地



会津墓地

石油ブームの到来と信越線の開通

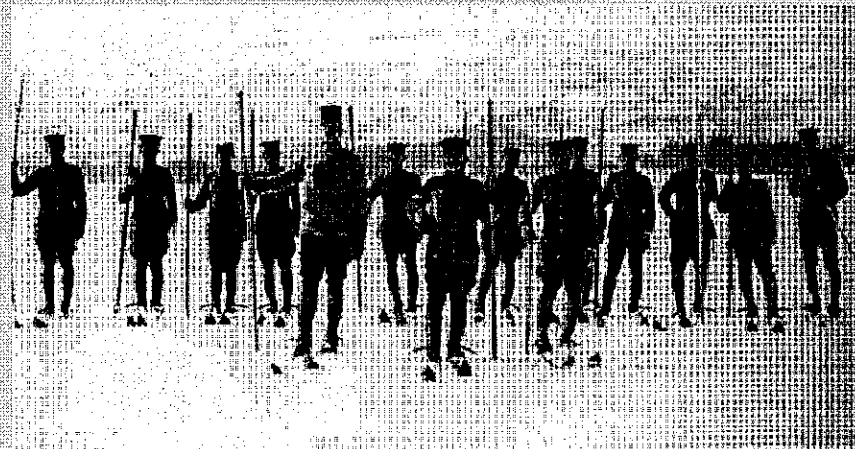
- ◆ 明治10年代、落ち込んでいた上越の経済を支えたのが、板倉区と清里区にまたがる玄藤寺油田の勃興でした。明治11年日本初のパイプライン。
- ◆ 1885年(明治18)には、室孝次郎らの努力によって直江津―新井間で鉄道が開通。1893年には直江津―高崎間で信越線が全通しました。石油の存在が後押ししたと考えられます。
- ◆ 明治30年代には牧油田が勃興。高田や直江津まで石油パイプラインがひかれました。



スキーの伝来

- ◆ 1911年(明治44)1月5日、オーストリア・ハンガリー帝国の軍人レルヒが、軍事視察のため高田に到着。1月12日には、現在の城西中学校付近にあった軍の練兵場で、日本で初めての本格的なスキー講習会が将校たちに対し、レルヒによって行われました。これが日本におけるスキー発祥の記念すべき日です。講習会は金谷山・南葉山・妙高山・米山などでも行われました。

レルヒと講習を受ける
陸軍将校たち(上越市
立総合博物館『スキー
発祥思いでアルバム』)



大正2年(1913)高田開府300年祭のころ



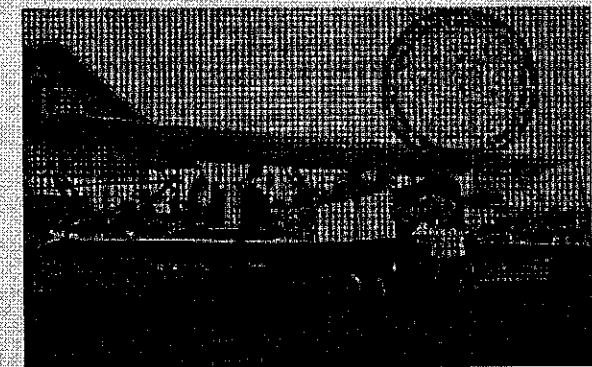
第13師団司令部(『高陽余影』より)



大正初年の本町通りのようす(『高陽余影』より)



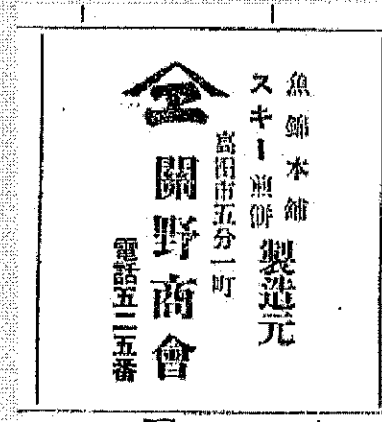
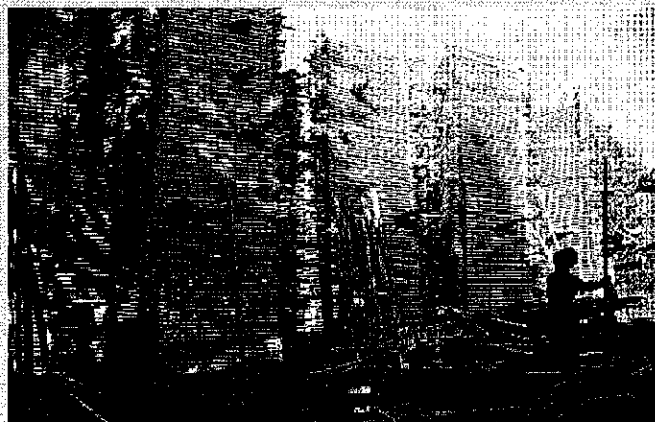
寺町のようす(『高陽余影』より)



「鳳」号と白戸栄之助(個人蔵)

スキー産業の発展と観光・文化へ

- ◆ 軍事利用を目的に行われたスキー講習会でしたが、師団長長岡外史は、民間へ広めた方が有益だと考えました。レルヒがスキーを伝えたその年の2月19日には早くも民間の高田スキー倶楽部が発足。スキーは急速に普及して、高田にはスキー製造の産業が根付いていきました。
- ◆ スキー煎餅やスキー羊羹、スキー飴なども出回るようになりました。



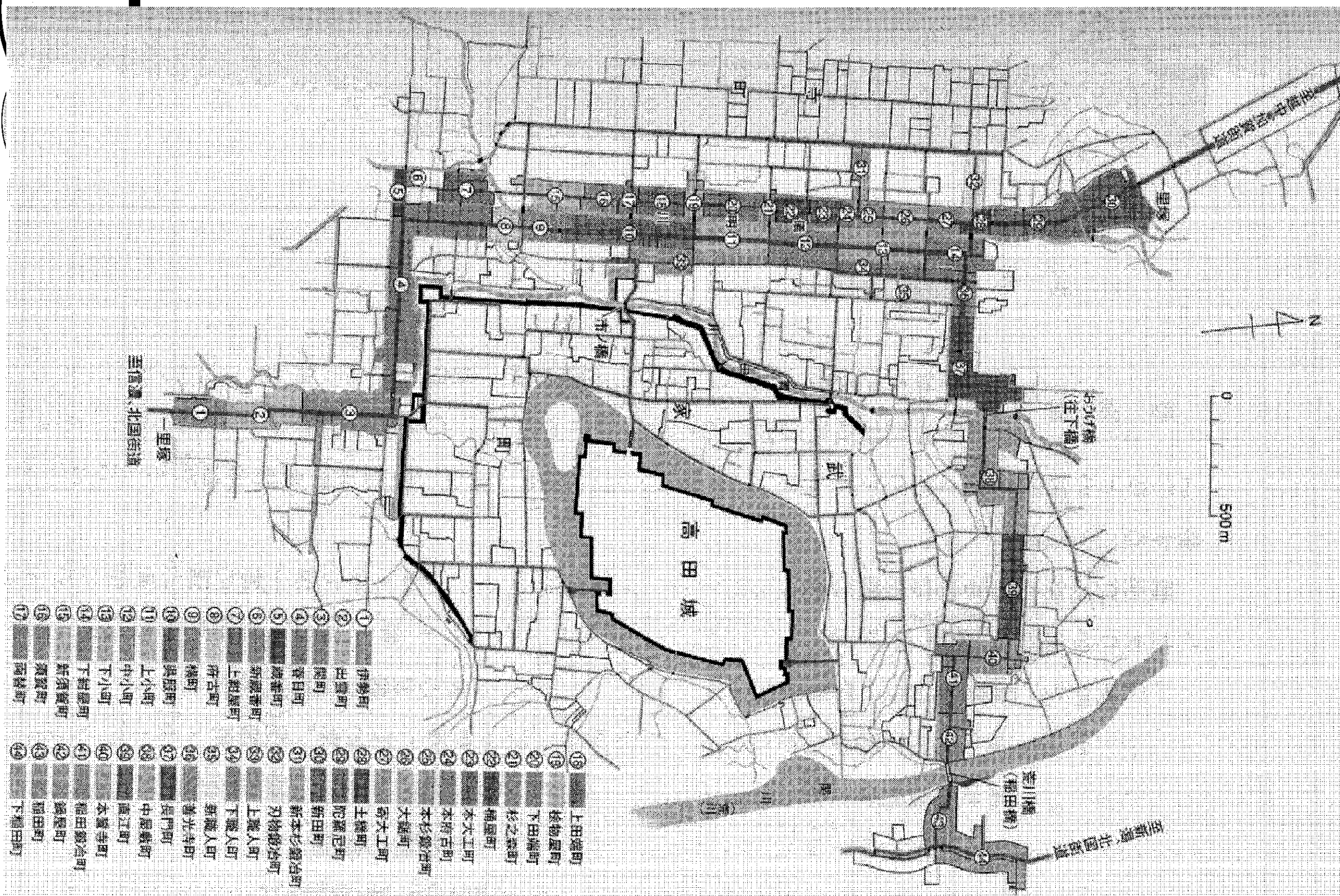
師団の廃止から戦争の時代へ

- ◆ 1925年(大正14)3月27日、第13師団廃止が発表され、5月1日には解散。
- ◆ 1926年(大正15)、高田で初めての上水道。
- ◆ 1927年(昭和2)、高田保勝会による観桜会開催。
- ◆ 1929年(昭和4)、昭和恐慌(世界大恐慌)が始まる。
- ◆ 1931年(昭和6)、満州事変。
- ◆ 軍国主義の台頭、戦時統制の時代へ。



昭和初年の観桜会ポスター(高田図書館蔵)

城下町の中の町 ・ ・ ・ 個別町



正徳2年(1712)高田町各町記録

(高田図書館所蔵「榊原文書」より)

番号	町名	由緒・特権等	町内の諸職	番号	町名	由緒・特権等	町内の諸職
1	伊勢町		桶屋1	21	稲田町	先年は百姓地	桧物屋1 紺屋1 桶屋1
2	関町	春日山・福島以来の町	塗師屋1 柄巻屋1 紺屋形付2 桶屋4	22	下稲田町	14年前より町方支配	紺屋6 桧物屋1
3	春日町	春日山・福島以来の町、 雑穀商売、馬市、往来 人足	風呂屋1 畳屋1 桧物屋2 紺屋6 紺屋形付 1 仕立屋1 塗師屋1 桶屋1	23	須賀町		
4	上蔵番町	松平光長時代に年貢蔵	素読指南役浪人1 手習師匠浪人1 湯屋1 紺屋4 塗師屋2 桶屋1	24	両替町		湯屋1 井戸堀2 畳屋5
5	上紺屋町	春日山・福島以来紺屋 商売	紺屋1 浪人1	25	上田端町	肴商売	肴問屋6 肴小売71 肴値段番4 信州出肴 改横目1 紺屋1
6	府古町		紺屋1	26	桧物屋町		桧物屋15 湯屋1
7	横町		旅籠屋21 紺屋4 畳屋1 仕立屋1	27	下田端町	肴商売	肴問屋6 肴小売74 肴値段番4 信州出肴 改横目1 紺屋1
8	呉服町	茶商売	秤屋1 表具屋3 蠟燭屋1 塗師屋1 古道具 取売1 筆屋2 仕立屋7 畳屋2 町料理人1 八百屋6 旅籠屋8	28	杉森町		井戸堀1 飾屋1 蠟燭屋1 湯屋1 桶屋3
9	上小町	諸問屋商売・船宿・信州 人馬宿・塩四十物・煙草	信州問屋7 仕立屋4 菓子屋3 筆屋1 研屋 1 手習師匠浪人1 浪人1	29	桶屋町	御城廻り桶細工	桶屋49 籠屋2
10	中小町	諸問屋商売・船宿・信州 人馬宿・塩四十物	信州問屋10 四十物問屋3 絵師1 町料理 人1 儒者1	30	本杉鍛冶町		紺屋1 風呂屋1 井戸堀1
11	下小町	諸問屋商売・船宿・信州 人馬宿・塩四十物	信州問屋1 縮問屋6 謡師1 加賀宰相本陣 1 菓子屋1 松平長門守本陣1 旅籠屋30 蠟燭屋5 五器屋1 筆屋1 仕立屋1 桶屋1	31	本大工町	福島越以来大工職	手習師匠1 紺屋1 桶屋4
12	下紺屋町	春日山以来染屋17人	鑊子屋1 椀屋1 蠟燭屋1 紺屋2 足袋屋1 町料理人1 手習師匠1 浪人2	32	元府古町	福島越以来天馬町	紺屋1 桶屋2
13	土橋町		町料理人1 小舟持1	33	大鋸町		紺屋1 井戸堀1
14	善光寺町		材木屋2 風呂屋1 筆屋1 椀屋1 表具屋2 紺屋1 塗師屋1 傘屋1 指物屋1 竹とうし 屋1	34	寄大工町	福島越以来	紺屋3
15	長門町	木町	材木屋5 絵師表具師1 紺屋1 風呂屋1 指 物屋1 筆屋1 井戸堀1	35	刃物鍛冶町		刃物鍛冶1 鍋のいかけ1 湯屋1
16	中屋敷町	福島越以来の町	風呂屋1 研屋1 塗師屋1 蠟燭屋2 仕立屋 2 紺屋8 傘屋1 桶屋1	36	陀羅尼町		手習師匠1 爪作り1 山木丸太商売5 塩問 屋2 町料理人1 唐傘提灯張1 蠟燭屋1
17	直江町	福島越以来の町 雑穀 商売	船持1 手習師匠2 萱屋根葺1 指物屋1 紺 屋2 桶屋1	37	新田町		
18	本誓寺町	福島城時代に本誓寺門 前	紺屋4 蠟燭屋2 風呂屋1	38	上職人町		浪人1 彫物屋3 金具屋3 研屋3 鞆師1 鞆師塗師屋10 塗師屋1 柄巻屋3 乗物屋3 仕立屋2 提灯張合羽屋3 提灯屋3 筆屋2 紺屋2 紺屋形付1 絵師1 刃物鍛冶1 箸屋 1 畳屋1 縫屋1
19	稲田鍛冶町		紺屋2	39	下職人町		研屋7 彫物屋2 金具屋2 鞆師塗師屋3 紺 屋1 紺屋形付2 畳屋3 合羽屋1 薬缶1 指物2 絵師表具屋1 仕立屋1 傘屋1
20	鍋屋町	鍋商売	鍋屋11 紺屋1				